

「『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム」を活用して 授業力向上のPDCAサイクルを確立しましょう！



主体的・対話的で深い学びを実現するための、授業改善は、何かやればいいのか？

そんなお悩みをお持ちの先生方に！

単元を見通した「実践→評価→改善→計画…」といったPDCAサイクルを回すことが授業力向上につながります！



そこで「『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム」を活用しましょう！

Action【改善】授業力向上に向けた取組を！

【評価】をもとに授業力向上に向けての「Action」を起こして次の「Plan」に生かしましょう！

- (例) ○ 全国学力・学習状況調査のデータを活用する！
- 授業づくりコーディネーターの指導を受ける！
- ICT活用のスキルを身に付ける！

「全国学力・学習状況調査」問題結果・データの活用



Plan【計画】授業計画を立てる！

「実践モデルプログラムを活用した授業のためのチェックシート」で、見通しのある授業計画を立てましょう！



実践モデルプログラムを活用した授業のためのチェックシート

Check【評価】授業実践について振り返る！

「実践モデルプログラムを活用した授業づくりシート」で、授業実践を振り返りましょう！

実践モデルプログラムを活用した授業づくりシート



Do【実践】計画に基づき授業を実践する！

「授業づくりコーディネーター」や「ちばっ子の学び変革」検証協力校の実践など先行事例を参考にして授業のアイデアを増やして授業実践力の向上を目指しましょう！

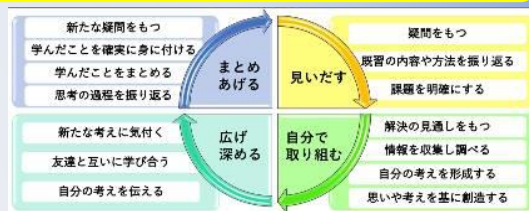
授業づくりコーディネーター実践事例

「ちばっ子の学び変革」検証協力校の取組



千葉県教育委員会では、「ちばっ子『学力向上』総合プラン」（学びの未来づくりダブル・アクション+ONE）において、児童生徒の学力向上を目指し、Action 2では「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業実践力の向上を推進しています。

千葉県独自の授業モデルである、「『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム」を授業力向上を図る上での手掛かりとして各種資料とともに、ぜひ御活用ください。



授業力向上のために！

チェックシートと授業づくりシートを活用しましょう！

「『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム」を活用する第一歩として、チェックシートと授業づくりシートをまずは使ってみましょう！

チェックシート

実践モデルプログラムを活用した授業のためのチェックシート

授業の前に	<ul style="list-style-type: none"> □本単元（本時等）を通して、資質・能力が育成された児童生徒の具体的な姿を、観点別の目標に基づいて描いている。 □児童生徒の、発問に対する反応や課題に対する考えを予想している。 □本単元（本時等）で資質・能力の育成ができたか評価する手立てを準備している。 □児童生徒が働かせるべき「見方・考え方」を理解している。 □「見方・考え方」を働かせた児童生徒の思考の過程が表れるような板書を計画している。
見いだす	<ul style="list-style-type: none"> □児童生徒が自ら疑問をもつことができるような資料や発問を準備している。 □既習の内容や方法を振り返る場面を設定している。 □児童生徒が課題を明確にすることができるように、疑問を整理して焦点化している。 □本単元（本時等）の目標（めあて・ねらい）を児童生徒に明示している。
自分で取り組む	<ul style="list-style-type: none"> □児童生徒が解決の見通しをもつことができるように、学習のめあてや既習の内容との相違点を児童生徒とともに確認している。 □児童生徒が自ら情報を収集し調べることができるように、環境等を用意している。 □児童生徒が自分の考えを形成したり、思いや考えを基に創造したりする時間を確保している。 □児童生徒が「見方・考え方」を働かせながら課題に取り組むことができるように、取り組むときの視点や思考の進め方を指導している。 □児童生徒一人一人の様子を把握し、早めに解決できた児童生徒や、つまづいてしまっている児童生徒に対する次の手立てを準備している。
広げ深める	<ul style="list-style-type: none"> □児童生徒が自分の考えを伝える場面を設定している。 □児童生徒が「見方・考え方」を働かせながら、根拠とともに自分の考えを伝えることができるように指導している。 □児童生徒が多様な考えを理解できるように、互いに学び合う場面を設定している。 □児童生徒が友達を考えを聞き、疑問点を問い直すことができるように、自分の考えと比べながら聞くなど、聞き方の指導をしている。 □児童生徒が新たな考えに気付くことができたか確認し、自分の考えや学びを修正することができるように、個に応じた助言をしている。
まとめあげる	<ul style="list-style-type: none"> □児童生徒が板書やノート、作品等を通して思考の過程を振り返り、学んだことをまとめる場面を設定している。 □「深い学び」につながる本単元（本時等）のまとめを、児童生徒の言葉で予想・準備し、書く時間を確保している。 □児童生徒が学んだことを確実に身に付け、「見方・考え方」を今後の学習や生活にどのように生かすか考える場面を設定している。 □児童生徒が新たな疑問をもつことができるような発問を準備している。

*上記の項目は、毎時間（もしくは毎単元）全ての項目を達成することを推奨するものではありません。授業改善の視点として、指導案の作成や校内研修等で御活用ください。

チェックシートはこちら！ → →



「チェックシート」は…

- ①単元等の指導計画作成時にチェックを入れて利用します！
- ②主体的・対話的で深い学びの視点で自らの授業実践についてチェックをすることができます！
- ③一単位時間ごとでも単元ごとでも、どちらでも活用することが可能です。



授業づくりシートはこちら！ → →



「授業づくりシート」は…

- ①授業の振り返りで利用します！
 - ②授業後などに、授業中の児童生徒の発言やワークシートの記載内容等、児童生徒の反応をメモします。
 - ③先生方の授業の「ねらい」と児童生徒の反応のギャップから授業力向上のヒントが見つかります！
- (例) 「学習活動に工夫があったかな？」
「発問を変えてみるといいかな？」
- ※日頃から授業の振り返りをしていることと思いますが、**分析の視点が可視化されることで、より授業力向上に向けての方向性が明確になります。**



授業づくりシート

実践モデルプログラムを活用した授業づくりシート

*日々の授業づくりに活用ください。

育成する資質・能力	児童生徒が働かせる見方・考え方
児童生徒の反応・考え・発言など	
リフレクション	
次の授業へ向けて…	

「『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム」について



千葉県教育庁教育振興部学習指導課